

## 令和4年度学校事故対応研修会（大分県教育委員会）について

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、ウェブサイト『学校安全Web』※1で、学校事故防止等に関する学校安全情報を提供しています。

また、JSC（福岡支所）では、担当地域（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）の各教育委員会・学校（園）・関係機関（以下「関係機関等」という。）と連携し、関係機関等が主催する講習会等で、事故防止のための情報提供や災害共済給付制度の説明を実施しております。

講習会等において、JSCが作成した事故防止に資する資料の活用方法を幅広く周知し、資料の活用促進を図ることで、学校の管理下における事故防止の支援を含め、円滑な学校教育の実施に積極的に貢献していきたいと考えております。

### 【講師派遣依頼をいただきました〔学校事故対応研修会〕】

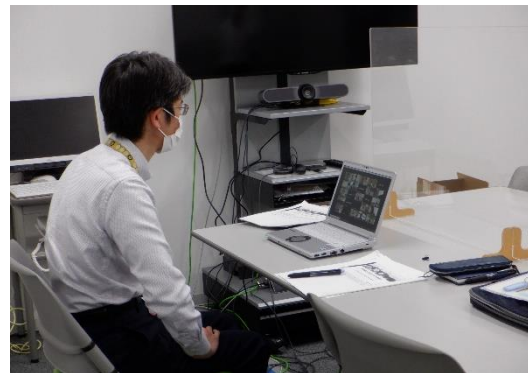
大分県教育委員会では、管理職を対象として、学校の管理下における事件・事故発生時の初期対応や事故防止対策等に関する知識を身に付け、教職員等の資質の向上を図ることを目的に、研修会を実施しています。その研修に対して、JSCへ講師派遣依頼をいただきました。

### 【研修の様子をご紹介します】

今回は、令和4年6月1日（水）に開催された大分県教育委員会主催の令和4年度学校事故対応研修会の様子をご紹介します。

本研修は、大分県内の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の校長又は副校長・教頭、市区町村教育委員会及び教育事務所の安全教育担当者等を対象に開催され、Zoomを使用し、リモートで実施されました。

研修は、小学校・特別支援学校の部、中学校・高等学校の部に分けて実施され、JSCからは、給付データから見る大分県内の事故状況などをテーマに、説明させていただきました。



説明を行うJSC職員1

## 学校等での事故を減らすために

「学校等での事故を減らすために」と題して、J S Cが行う災害共済給付業務や学校安全支援業務についての紹介、大分県の災害の状況、障害見舞金の支給事例、事例を踏まえた事故防止の留意点などについて、ご紹介させていただきました。

まず、法人の紹介、災害共済給付制度の概要、令和2年度の給付実績などに加えて、令和2年度における大分県の災害の状況を説明しました。

### 大分県の給付状況（令和2年度）

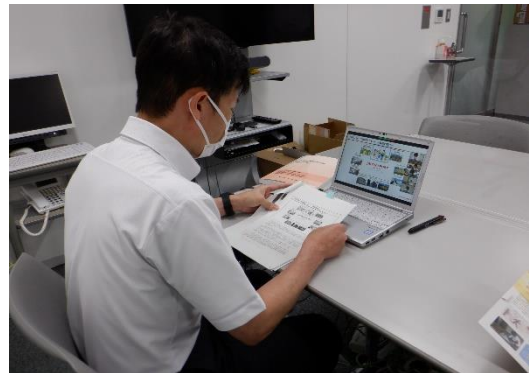
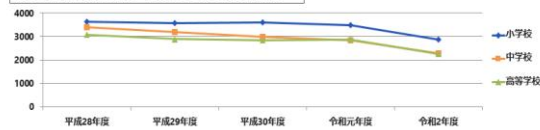
令和2年度に災害共済給付を行った、大分県内の小・中・高における

災害の発生件数は**7,368件**、医療費給付金額は**約1億1千9百万円**

学校種	災害発生件数	医療費給付額
小学校	2,854件	22,478,174円
中学校	2,274件	28,618,138円
高等学校	2,240件	67,488,304円

※それぞれの学校種に特別支援学校も含まれます。

### 直近5年間（平成28年度～令和2年度）の発生件数推移



説明を行う J S C 職員 2

続いて、J S Cが作成している「学校の管理下の災害 [令和3年版]」※2から、小学校・特別支援学校・中学校・高等学校、それぞれ令和2年度に支給した障害の事例を取り上げ、その事例ごとの事故防止の留意点を併せて説明しました。

具体的には、小学校における事故防止の留意点として、「毎年のように起きる事故には同様の傾向があること」や「1年生から6年生までが在学し、成長段階が広範囲に渡っているだけに、中学校・高等学校等とは違った注意が必要であること」などを説明しました。

災害には、予期できないものや防ぐことが非常に困難な事例がある一方、前もって危険の予測が可能なものや、事後の対応を的確に行えば、被害を最小限に抑えることが可能なものがあります。学校の管理下の災害を、安全教育の参考書として、皆さんにご活用いただければと考えております。

小学校における事故防止の留意点②

●事例紹介 「学校の管理下の災害 [令和3年版]」 P 203

事例14 2020年-09 聴力障害 小4・女

昼食時休憩時間中、体育館でボールを2個使用してドッジボールをしていたところ、ボールが右耳に当たった。右耳の耳鳴りの障害が残った。

●事故防止の留意点

ドッジボールはボールを人に当てる運動なので、児童は常にボールに集中している。難度を上げるために2個のボールを使用したであろうが、一度に2個のボールに集中できるものではない。見ていない方向からボールが向かってきたら避けられるものではない。基本的にドッジボールは1個のボールで行いたい。更に最近では当たっても痛くないソフトドッジボールがあり、小学校ではこのボールを使用することが多くなっている。使用する器具への配慮と運動する際の方法の両面から安全面での配慮を行うべきである。

17 JAPAN SPORT

研修の最後に、6月という時期もあり、映像資料「熱中症を予防しよう-知って防ごう熱中症-」※3を視聴していただき、研修を終了しました。

【研修を終えて】

大分県教育委員会研修担当者からは事事故例の紹介や詳細なデータ、データベースの利用方法などについて、講義いただき、参加者は危機感を持つことが出来たのではないかと。また、参加者からは、今後資料を活用していきたい、などの声をいただきました。

【最後に】

今回ご紹介した研修のように、関係機関等で実施される研修等で「JSC職員から学校事故防止に関する話しをしてもらいたい」等のご要望がございましたら、ぜひ福岡支所までお問い合わせ願います。

リモート研修も対応可能ですので、ぜひよろしくお願います。

〔研修で紹介した、JSCが作成した事故防止に資する主な資料等〕

○学校事故事例検索データベース※4

平成17年～令和2年度までに災害共済給付がなされた8,404件の死亡・障害事例を掲載しています。

どのような時に、大きな事故が起きているのかを簡単に検索することができます。事例を知ることにより、事故の再発防止にご活用いただけます。

検索結果

5件

記号	死亡・障害	死亡障害種	学校種	被災学年	性別	場合1	場合2	競技種目	講学方法	発生場所1	発生場所2	遊具等	発生状況
18 16	障害	歯牙障害	小	6	女	各教科等	体育(保健体育)	その他		学校内・校舎内(園内・廊下)	体育館・屋内運動場		体育の授業中、バランスを崩していたとき、顔面から床に転倒し、前歯を2本折った。
22 5	障害	歯牙障害	小	6	男	各教科等	体育(保健体育)	体操(組体操)		学校内・校舎内(園内・廊下)	体育館・屋内運動場		学年体育の授業中に、組立て体操の「サボテン」を、首の二本とするために本児童がおこなった。成功したものの、バランスを崩して前方に転落した。その際、手を巻いて支えようとしたが、床に顔を強く打ちつけ、上の前歯が一本、縦に亀裂が入った。
28 16	障害	歯牙障害	小	6	女	各教科等	体育(保健体育)			学校内・校舎内(園内・廊下)	廊下		学級で皆と一様に学習できない状態になり、その後、保健室を空校していた。当日、保健室に空校していた本児童が保健室を出たとき、学級の他の児童たちが、体育の運動会練習のため、体育館から運動場へ移動してきたのを見て、バニック状態になり、それを見ながら校舎の2階へ上がり、教室にある自分の椅子(いす)を廊下に出して、発作的に意から飛び降りたと思われる。(目撃者もいない、本児童も覚えていない。)なお、廊下で頭部や全身を強く打っ

○熱中症を予防しよう-知って防ごう熱中症-（映像資料）

熱中症予防の原則や熱中症予防のための指導のポイント、対策例、裁判例から見る指導者の熱中症予防への配慮について、学校管理下における熱中症死亡事例、など学校における熱中症予防、再発防止のための取組を支援するための情報を掲載しています。



<参考資料>

- ※1 [学校安全Web](#)
- ※2 [学校の管理下の災害 令和3年版](#)
- ※3 [熱中症を予防しよう-知って防ごう熱中症-（映像資料）](#)
- ※4 [学校事故事例検索データベース](#)